

平成22年12月(2010年) No.540

年末に想う

会長 合原一夫

50回記念映写会を成し遂げた忘れえぬ年 そして、ハイビジョンが当たり前になったという年

平成22年も終わろうとしています。光陰矢の如し、とは古くから言い伝えられてきた言葉ですが、年をとってくるとよけいにそう思いますね。まあ体の動ける間は前向きに楽しくやっていきたいものです。

さて、今年の最大の行事は何と云っても朝日生命ホールでの第50回記念映写会でした。黒田先生や関さんには特にお世話かけましたが、生涯に一度の記念すべきひとつの区切りでした。また大盛会で良かったと思います。これも会員みんなの動員へのお力添えがあったからこそと感謝しております。来年からは再び大阪市立中央会館へ戻りますが、作品の方はレベルを落とすことなく伝統のOMC発表会を続けたいと思っています。

例会作品も今年はハイビジョンがほとんどで、従来のSD作品が例外となりました。その例外を私が持参するので、出品するときはトップ上映ということになります。これも時代の流れでしょうか、またカメラもテープからハードディスクとかメモリーが主流になってきていますので、その編集にはソフトを入れ換えたり操作を勉強したりと、なんだか機械にふりまわされているような気がします。後期高齢者にはまことにとってしんどい時代となってきました。これで若い方がクラブに入って来られればよいのですが、編集し作品づくりをするわずらわしさを敬遠されてしまうのではないかと、そんな思いをしたりします。若き新人の入会が今後の課題です。

12月例会のお知らせ

12月例会は25日(第4土曜日)午後6時より、大阪市立難波市民学習センター(JR難波OCATビル4階)にて開催します。今年最後の例会です。暮れも押し詰まっています何かとご多用の頃と思いますが、今年を締めくくって二次会共々楽しいひと時を過ごしましょう。

- 次期年会費 8,000円を会計に納めてくださるようお願いいたします。
- 幹事会 例会日の25日13時より第1会議室で行います。
- 世話役会 例会日の15時より第1会議室で行います。

■新年会：1月例会及び総会終了後、17時過ぎから、いつものレストラン（スーパーライ難波、例会場の上の5階）にて行います。会費5,000円。予約人数確認のため、同封の出欠ハガキを年内に投函してください。

1 1月例会のレポート

今年も紅葉の季節を迎えました。撮影へ出掛ける人も多いと思います。今月も新しい人が会員となって頂きました。

◎新入会者：高瀬辰雄さん

〒604-8414 京都市中京区西ノ京小倉町 2
TEL 075-841-2310

よろしくお願ひいたします。

さて、今月の司会は吉岡氏、書記は前田氏 映写係、河合、江村、井上の三氏、受付は進藤、宮崎の両氏の各担当で会を進行しました。今月から井上氏に映写担当に加わってもらうことになりました。

■出席者：有村、井上、上田、岩井、江村、岡本、紙本、河合、河口、黒田、合原、進藤、関、玉井、錦、華岡、前田、宮崎、森下、森口、山本、吉岡、渡辺、船橋、高瀬（新入会者）の25氏（敬称略）及び那須氏は作品出品のみ。

■住所変更のお知らせ

河口禮志さん

新：745-0641 山口県周南市大字小松原
1107-1 TEL：0833-91-0383

E-Mail：xyxwr369@ybb.ne.jp

那須典彦さん

新：569-1025 高槻市芝谷町 53-3 サン
シティ高槻 1307号 Tel 072-669-8778

山口幸代さん

新：895-2513 伊佐市大口上町 25-6

■住所訂正のお知らせ

船橋喜敏さん

郵便番号：正 540-0004 ←誤 540-2024

E-Mail：yfa85728@nifty.com

■メルアドの訂正

渡辺雄史さん

正：at_wata@kcn.jp

誤：at-wata@m4.kcn.ne.jp

■メルアドの変更

前田茂夫さん

新：info@sl-sanka.main.jp

旧：smaeda@lyra.vega.or.jp.

旧メルアドも当分使いますが、いずれ廃止します。

■上映（今月の講評は前田世話役です）

1. 元陽への旅 (DV)

合原一夫さん 12分00秒

3年前に中国雲南省元陽へ奥さんと撮影旅行されたときの記録。広大という言葉がぴったりの見渡す限りの棚田風景が有名なところ。スチールの撮影旅行に同行されたというだけあって、一般のツアーと違ってじっくり撮られています。前半に少数民族の家庭の内部まで撮影させてもらっており、単なる旅行記とは一味も二味も違います。奥さんの強い希望で実現したことや、出来れば再訪したいとの奥さんの願望などが現地での会話で語られ貴重な家族記録になっています。旅の記録でもありながら、夫婦愛があちらこちらに滲み出ており、ホームムービーとしても素晴らしい作品でした。

2. 天狗と虚無僧 (DV)

岡本至弘さん 10分00秒

和歌山県由良の興国寺の天狗祭りを撮られたもの。興国寺の開祖法燈国師は尺八を会得されたことから虚無僧の本山として名高い。また信長の兵火により焼失した伽藍を天狗が一夜にして再建したという言い伝えがあり大天狗を祭る寺としても名高い。作品的には、寺と天狗と虚無僧との関連が判らないのでナレーションで補って欲しいとの司会者のコメントがありました。やはり寺の紹介から始まって、寺と虚無僧と天狗の関連を語ってもらえば更にもっといい作品になることと思います。虚無僧のアップのTOPシーンはなかなか良かったと思います。あまり知られていないが、この寺は味噌・醤油の発祥の地でもあり、フィルム時代に OMC 撮影会を行ったことがあります。

3. 大阪城の梅林 (DV)

船橋喜敏さん 7分10秒

先月入会された新入会員が初めて持参されました。快晴の日に梅林の梅の花をアッ

プを多用して撮影されており、梅の香りが漂ってくるような非常に綺麗な作品です。撮影の腕前はさすがに立派なものと思えました。アップとアップとが連続して続くので、メイダイアム、ロングショットを挟むトリズム感がでるのはどの司会者のコメントでした。ほぼ全編をディゾルブ又はエフェクトで繋いでいますが、基本的なカット繋ぎを使った方がいいのではと思えました。心が休まる結構な作品でした。

4. 探訪奥伊勢の湧水 (HDV)

森口吉正さん 9分40秒

いつもながらの作者お得意の名水紀行の作品です。流暢で味わいのあるナレーションに乗せられて作品は展開していきます。三重県大紀町の八重谷山中の石灰岩の山の窪みから大量の湧水が湧き出し、そのまま溪流の源流になっているという珍しい湧水だそうです。石灰岩の洞窟の内部に入って撮影したシーンがあります。小さな水音が滴る神秘的な音でいいシーンですが、ここではBGMを絞って反響のある水音だけを聞かせたほうがいいのではと司会者のコメントがありました。落ち着いた雰囲気のあるいい作品でした。

5. 祭の寸描 (HDV)

有村 博さん 8分04秒

今年は平城遷都1300年であり、数々のイベントが開催されました。そのイベントを3回も撮影に行かれて纏められた作品です。このイベントはまさに現代風の一大ページェントで、1300年前を回顧するものでなかったと思えました。これも時代の流れなのでしょう。衛士隊(えじたい)の行進ショーでは、日本語をはじめ中国語、韓国語等各国語で解説していますが、それをSEに使っていましたが、面白い試みだと思えました。大極殿の内部など珍しいものが目新しく楽しく見せてもらいました。このような大規模なイベントは今後50~100年はないでしょうから貴重な記録になりました。楽しい作品でした。

6. 彼岸花の咲く頃 (HDV)

前田茂夫さん 6分10秒

昨秋の紀州鉄道沿線に咲いた彼岸花と今は休車になったキハ603の気動車だけを

写した作品です。今年は猛暑の影響で彼岸花の咲き出しも遅く花の色も良くなかったようで、昨年キハ603の走行と併せて撮れてラッキーでした。

7. 京都2日間の旅行(前編) (HDV)

吉岡貞夫さん 11分55秒

今年の日本アマチュア映像作家連盟の京都全国大会に参加されたときの記録を纏めた作品で今回はその前編です。京都は近いです、なかなか格式が高く撮影することが難しい被写体を撮られています。舞妓さんの踊りや鴨川の納涼川床での夕食、舞妓さんのお酌など普段は撮れない被写体を撮るなど撮影会ならではの情景です。今回は前編だそうで、次回の後編はどのような展開内容になるのか期待されます。楽しい作品でした。

8. ザ・御陣乗太鼓 (HDV)

河合源七郎^{なぶね} 9分38秒

能登の輪島の集落名舟が発祥のようで、舳倉島の奥津姫を迎える御神事太鼓が訛って御陣乗太鼓と呼ばれるようになったそうですが、その由来から起こして現代に至るまでの歴史的背景を交えてナレーションで語ってくれます。御陣乗太鼓のいわれが非常によく判りました。海岸道路工事の影響で海岸縁で演じられることはなくなり、神前で演じる奉納行事になってしまったそうです。観光化してホテルの宴会舞台で演じられることが多くなったとか。奥津姫を迎える白山神社祭礼の神輿やキリコを先導もせず、お供にも付いて行かない神事太鼓でなくなり、舞台芸能に成り下がっていたと作者は嘆いておられます。これも時代の流れに棹を差すことは出来ないようです。しかし迫力有る良い作品でした。

9. 秋の紀州鉄道 (HDV)

江村一郎さん 6分10秒

昨年秋に撮影された紀州鉄道のキハ603を中心に、付近の風物や情景を巧みに取り入れた作者お得意の映像詩風作品です。モノクロから始まってラストもモノクロで終わるという工夫をされています。風景を超アップで切り取り、それらを脈絡なく積み重ねて主題の構成と表現を行う作風は、作者独自の感性で、他の人にはまねの出来

ない作風です。ただこの BGM はリズム感がありすぎてよさこい風であり、この作品には似合わないのではと思いました。

10. 五十鈴神社 三国一煙火 (HDV)

井上勝彦さん 7分03秒

長野県駒ヶ根市の五十鈴神社例大祭奉納花火を撮ってこられた作品。打ち上げ花火ではなく、筒花火というものだそうです。なんでも立体写真クラブのお仲間の花火師のお誘いで行かれたので、一般の人が入れない特別な場所で撮影されたとか。その甲斐があって非常に迫力ある映像を纏められています。これまで沢山の花火作品を観てきましたが、最も迫力のある作品の一つだと思いました。火の粉が降り注ぐ下をもとめせず、突進する氏子たちの迫力に驚きました。3D映像で撮られているようで、次の機会には3Dで見せて欲しいと思いました。

11. よみがえる葭原 (再) (HDV)

進藤信男さん 7分58秒

9月例会で上映された作品を全面的に作り替えられナレーションも入れ替えたそうです。淀川右岸にある鶴殿のヨシ原は筆者のすぐ近くに立地しますが、あまり写欲も沸かずにいました。進藤さんは見事に素晴らしい記録作品に仕上げました。前作 11:36 秒から今回 7:58 秒に大幅に短縮されテンポよく見せてもらいましたが、短くした分だけ大事な内容がカットされたのではないかと、このような記録作品の場合は短くすることにより重要なストーリーがなくなるのではないかと、10分でも良かったのではないかと思います。

12. もう一つのねぶた奉 (HDV)

上田吉巳さん 11分00秒

9月例会作品の改作なのでしょうか、前作 11:55 秒から今回作 11:00 へと約1分短くされています。内容的には何処をどう変えられたのか判りません。会員のねぶた絵師対馬会員の活動をメインに、釜が崎での手作りのねぶた祭りを写されています。釜が崎祭りの後、故郷の大鰐へ帰られ大阪で描かれて故郷のねぶたの絵柄を飾ったというストーリーが展開されます。再び釜へ戻りネプタを飾った夏祭りのシーンで終わ

りを告げます。対馬会員が絵師だったことも驚きでしたが、氏の活動があつた釜が崎でも花が開いたことは素晴らしいことでした。得がたい経歴をお持ちの対馬会員が事情で退会されたようで大変残念なことです。感動的な記録作品でした。

13. 秋桜 (HDV)

玉井 勻さん 4分50秒

コスモス寺として名高い奈良般若寺に咲き乱れる秋桜を取ってこられた作品です。作者は「コスモスだけです。」とご謙遜でしたが、作者の豊かな感性で、しっとりとした情感あふれる穏やかな作品に仕上がっていました。BGMもよくマッチしており、いい雰囲気を高めていたと司会者のコメントでした。

14. 上高地散策 (HDV)

那須典彦さん 6分00秒

フィルム時代からの古いベテラン会員さんですが、最近ほとんどお顔を見せていただけません。今回は作品出品だけということで、高槻クラブの会員でもある関世話役が持参されました。フィルムからビデオへの転換が一番早かったメンバーの一人で、がっしりとしたショットを撮られる作風をお得意にされています。快晴の上高地を散策したときの作品ですが、天候もよく撮影技術もしっかりされているので安心して見られます。画を書く人を入れたので作品が締まっています。ラストの処理をして欲しかったとの声がありました。せめて年に一度でもお顔を見せていただきたいものと思います。

15. ピティウセス諸島 (HDV)

山本正夢さん 8分30秒

地中海に浮かぶスペイン領の小さな島だそうです。作者は毎回一般の人が知らない場所へ案内してくれますが、今回もそうで地元では有名な観光地だそうです。日本人は行くのだろうか?と思いました。2000年も前から人が住み着き、14世紀頃はキリスト教徒とイスラム教徒との戦場にもなったそうです。前半に聖フランシスに感謝する祭りの行列と、街角の踊りが披露されますが、BGMでなくSEで聞かせて欲しかったと思いました。